

廃止措置の作業に活用できる製品・技術開発ニーズの例

- 例 1) 重量物運搬を繰り返し行う作業において、作業員の負担を軽減するため、脚部のアシストを含む動きやすいアシストスーツの開発
市販されているアシストスーツは、腕と腰への負担を軽減するタイプであるため、脚部への負担も軽減できるアシストスーツの開発により、負担軽減が期待できる。
- 例 2) 解体対象の機器や配管へのマーキング作業において、対象物が高所や狭隘部にある場合の足場設置などの負担を軽減するため、離れた位置からレーザー等でマーキングする方法の開発
現在、手書きによるペイント（色付け）マーキングの場合、高所であれば足場が必要であるため、離れた位置からマーキングできる方法の開発により、負担軽減が期待できる。
- 例 3) 溶断作業等の火気使用作業終了後において、監視の充実および作業員の負担を軽減するため、溶断物量、養生方法、使用材料などから残火確認に必要な時間の算出、遠隔にて監視・連絡する方法の開発
現在、火気使用作業終了後は、一定時間、現場で作業員が監視しているため、残火確認に必要な時間の算出で、より十分な監視ができる。また、遠隔にて監視・連絡することが可能になれば、現場監視による負担軽減が期待できる。
- 例 4) 放射線管理区域内の作業で発生する放射性廃棄物の発生量低減のため、放射性物質が付着しづらい不燃・防災シートの開発
溶断作業等の火気養生に使用する不燃・防災シートは、一旦、表面に放射性物質が付着すると、拭き取りでは除去しづらいため、切り取り、放射性廃棄物にしている。放射性物質が付着しづらい材質となれば、除去にかかる負担軽減と、放射性廃棄物発生量低減が期待できる。